

トピックス **ぶらす**

6/27・29・7/4

県大会への切符を懸けて

市内でスポーツ活動を行っている青年たちが一堂に集う「第6回登米市青年体育大会」が6月27、29日、7月4日の3日間、登米総合体育館を主会場として開催されました。大会には約300人の青年が参加し、県大会出場の切符を懸け熱戦を繰り広げました。参加者は試合を通して練習の成果を発揮するとともにお互いに交流を深めていました。



▲各会場で、白熱した試合が展開されました

7/4

いつまでもきれいな長沼を

長沼漁業協同組合主催による長沼クリーンキャンペーンが7月4日、会員約30人が参加して開催されました。このキャンペーンは、美しい長沼を守ろうと年2回開催しているものです。今回の作業では、大型冷蔵庫4台や古タイヤなど不法投棄物品が多く回収されました。今後も、同組合では不法投棄の監視も含め清掃活動を予定しています。



▲皆で長沼周辺に散乱した多くのごみを回収しました

7/8～9

車の「魅力・楽しさ」を体感

上沼小学校で7月8、9日、4・5年生を対象に、トヨタ自動車から講師を招き「トヨタ原体験活動」が開催されました。活動では、チームごとに開発コストや環境への配慮を考えながら駒を進めるエコゲーム、空気エンジンカーを用いた「パワー&コントロール実験」などを行い、環境について考えたり、圧縮空気のパワーを実感したりしました。



▲空気の圧縮と膨張で走る、空気エンジンカーを作成

7/18

みんなが集まり楽しく遊べる公園に

皆が利用しやすい公園となるよう改修を進めている中江中央公園の常設ステージの完成を記念し7月18日、市内外のミュージシャンによる野外音楽祭が開催されました。当日は音楽祭のほか、今後催し物などでの積極的な活用を願い、関係機関の代表者によるテープカットが行われました。



▲関係者がテープカットを行い完成を祝いました

石越で高齢者交通安全教室
交通事故に遭わないためには

石越地区シルバードライバークラブ主催の「高齢者交通安全教室」が6月30日、石越総合支所において開催されました。教室では長根駐在所長を講師に招き、交通事故に遭わないための心構えなどを学びました。中でも事故に遭わないための工夫として「明るい色の服装を心掛け、反射材のついたグッズを着用することで事故に遭う確立が低減できる」とのアドバイスがあり、参加した皆さんは、今回の教室を通じて、多発する高齢者の交通事故を防止し、元気で明るい石越地区にしようと誓い合いました。



▲地区内の、交通事故が起こりやすいポイントなどを皆で再確認

納税貯蓄組合東和支部平成22年度税務研修会
さらなる組織力向上を目指す

市納税貯蓄組合東和支部の「平成22年度税務研修会」が6月27～28日、南三陸町のホテル観洋で開催されました。この研修会は納税思想の高揚と円滑な納税貯蓄組合の運営を目的に、地区納税組合長および会計を対象に毎年行われているもので、今年は95人が参加しました。研修会では、市税務課長を講師に招き「登米市財政と市税のあらまし」と題して、納税組合長の役割や各種税金の算定方法について説明を受けました。質疑応答や意見交換では活発な意見が出されるなど、とても有意義な研修となりました。



▲円滑な運営を目指し、研修会で税について学ぶ各地区の組合長

芭蕉翁一宿の地登米で芭蕉祭俳句大会
五・七・五に心を込めて

今年で59回目の開催となる「登米芭蕉祭俳句大会」が6月27日、登米公民館の大集会室で開かれ、市内外から多くの俳句愛好者が参加しました。大会では初めに、宮城県俳句協会の佐治英子会長などの選者が選んだ兼題（前もって出された題で作る句）の表彰式が行われ、一般の部と小中高校生の部の入選者に賞状が贈られました。午後は、当日題が発表される席題「羽抜鳥」「蜻蛉生る」「空梅雨」の題を句に詠んだ入選作品の審査や講評などが行われ、入選者に賞状と副賞が贈られました。



▲歴史ある俳句大会に、今年も多くの俳句愛好者が集いました